

学習指導要領 改善の具体的事項より

- 特に、運動に苦手な児童や運動に意欲的ではない児童への指導等の在り方について配慮する。



「川崎の体育」がめざすところ

すべての子供の心や体に優しい体育学習を

**体育的強者に強く反応
する指導者**



**体育強者への
反応フィルター**

ゲーム中のよい動き・技能のみに
反応する

リアクション・コーチング
「シュート！」 「右！」

体育的弱者への反応フィルター

居心地のよい学級
自己学習力を重んじる指導者



**体育的に強くない
子供への
反応フィルター**

体育強者への反応フィルター

体育の授業に心を開けない子供たち

- ・ **いわゆる集団スポーツ系で考えると…**
例) ゴール型 (バスケット・サッカー)

△カリキュラム自体がバリアになっていて楽しみようがない

△自分のチームなのにチーム内に「敵」がいる

- ・ 多様な楽しさの提供
- ・ 楽しみ方の見直し
- ・ 指導者の意識改革
- ・ 授業力向上

集団スポーツ系の楽しさを共有する

• 低学年

楽しさ
勝者になること

• 高学年

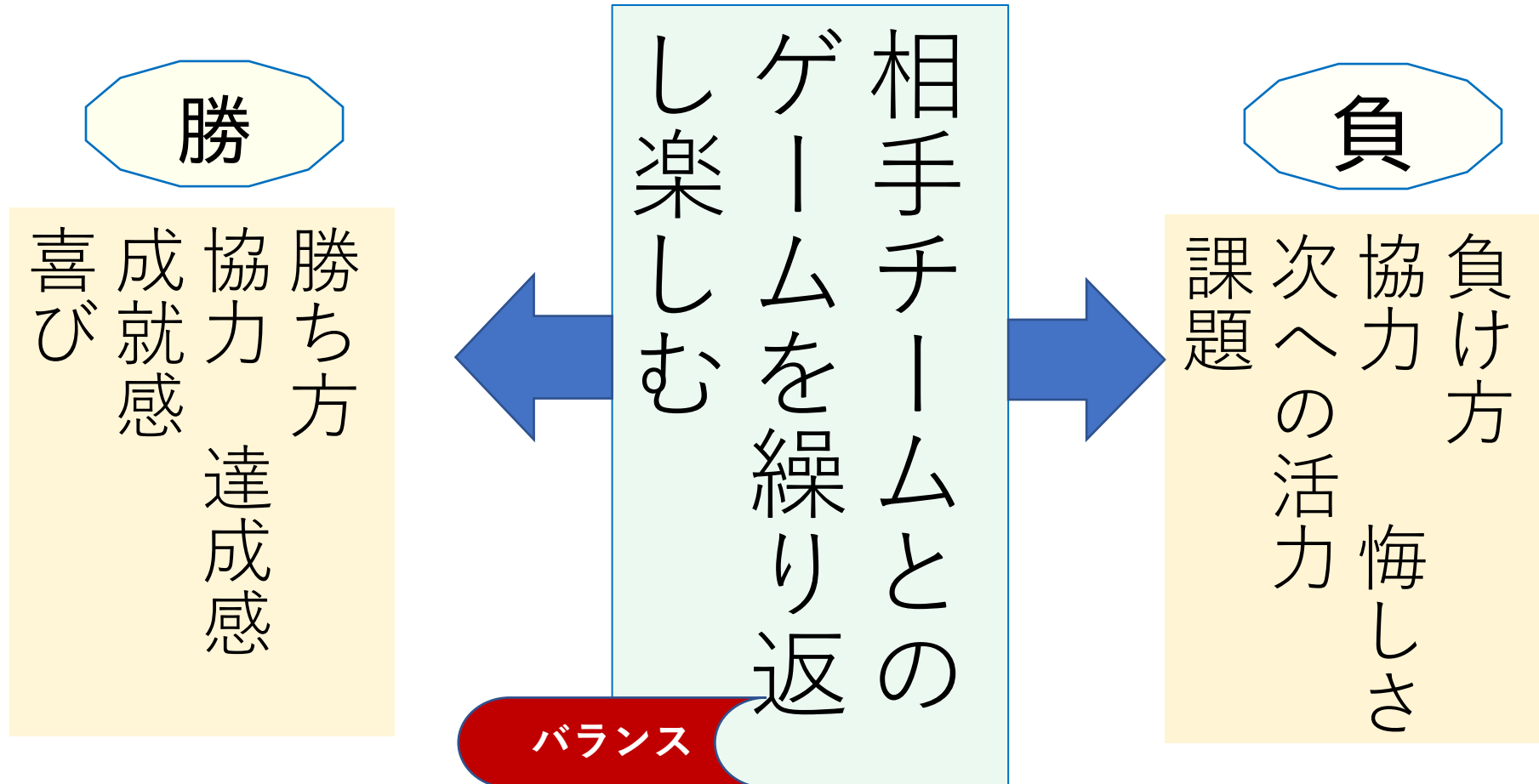
楽しさの質の深化

- 仲間との協力や
チームワーク
- 相手チームと競い合っているゲームそのものの

カリキュラムで
つないでいく

集団スポーツ系の楽しさを共有する

全てのチームの願い → 勝利を目ざす



教員の指導観・教師像を変えよう

・深い学び…安心して学び直しができる

(体育授業のキーワード)

(失敗はしないほうがよいけれど、もし失敗してしまっても・・・)

「教える」から「ファシリテート」する

これからも川崎の全ての子供が運動の楽しさや喜びを
味わうことができるように